



愛知県労働組合総連合
名古屋市熱田区沢下町 9-7
労働会館東館 3F
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
URL <http://www.airoren.gr.jp>
発行人 樽松 佐一
第157号 2006年8月10日

愛労連第35回定期大会報告特集

愛労連 第1回評議員会

■とき 9月2日(土)13:30
■ところ 労働会館東館ホール

愛労連第35回定期大会

情勢切り開く たたかいに確信



7月18日に行った中部人事院事務局への行動

愛労連は7月23日、名古屋市内の中村区役所講堂で第35回定期大会を開催し、代議員や傍聴など約220名が参加しました。

最初に羽根克明議長が幹事会を代表してあいさつ。来賓には全労連の寺間誠治組織局長、憲法と平和をまもる愛知の会の成瀬昇代表世話人、日本共産党愛知県委員会の岩中正巳委員長、国民救済会愛知県本部の安藤徹会長らが駆けつけ、激励と連帯のあいさつを送りました。

議案の提案では、樽松佐一事務局長が、組織拡大3ヵ年計画3年目の目標達成、大企業の社会的責任追究、安全安心の公共サービスを守り格差と貧困の是正、憲法と教育基本法を守り政治の革新などを柱とする運動方針などを提案しました。35名の役員が選出されました。(詳細は2〜4面)

午後からの討論では15単座、7地域組織、2補助組織から31人が発言し、修正意見はなく基本的には幹事会の提案する方針を支持・補強するものでした。

議案採決では、すべての議案が全会一致で可決され、大会宣言も全会一致で採択されました。また、新しい35名の役員が選出されました。(詳細は2〜4面)

06人勧、月例給・ボーナス改定なし 最低賃金は6円の引き上げ

8日の06年人事院勧告は、月例給・一時金とも改定を見送るという内容でした。人事院は今年民間企業調査の対象を「100人以上の企業から「50人以上」に変更。また、民間役職者の対応関係も変更するなど、あらたな調査方法で対応しました。

調査結果は官民較差が18円で、「おおむね均衡」として改定を見送ったものです。しかし、給与への勤務成績反映や昨年の給与構造改革、地域手当など、公務員賃金をめぐって今年も激しい攻防が展開されます。

今年はまだ、「育児休業等の法改正について意見の申出」「職員の自己啓発休業に関する法律の制定について意見の申出」なども打

小泉構造改革路線は、労働者・国民のくらしに激しい痛みをもたらしています。トヨタ自動車など大企業が空前の大幅引き上げ、労働法制改悪反対、働くルール確立の課題と結んでたたかうことが重要です。

小泉内閣の老年者控除廃止や定額控除の半減などによって高齢者は大増税になり、さらに連動して国保料や介護保険料なども高くなります。社会保障改悪と相まって、くらしがますます圧迫されています。地域住民と結んだ増税反対・社会保障拡充のたたかいをすすめる必要があります。

小泉の悪政をはね返す運動 本格的に



愛労連議長
羽根克明

構造改革は公務員に対して「官から民へ」「小さな政府」など、定数削減、人件費削減、民営化、規制とろくくみします。

憲法・教育基本法の改悪を許さないたたかいもこの秋が山場となります。国民過半数署名の達成に向けさらに奮闘していきたいと思っています。

組織拡大では愛労連全体としての減少傾向に歯止めをかけるまでには至っていません。今年度は組織強化3年計画の3年目。活動のすべてを組織拡大に結びつけ、単組・支部段階でのとりくみを重視していきましょう。

来年は選挙の年です。県知事選、いっせい地方選、参議院選と政治を転換するチャンスです。大いに奮闘しましょう。

ち出し、育児休業等の一定の改正もすすめることを求めています。

これに対し全労連や公務関係労組は、これまでの調査方法ならば官民格差が4252円あったものを、人事院が組合との合意もなく一方的に調査対象を変更して作り出したペアゼロ勧告だと抗議しています。

全国一律最賃制の確立さらに時給1000円をめざそう

同じく8日午後4時から愛知地方最低賃金審議会が開かれ、先月26日の中央最低賃金審議会の「目安」を2円上回る6円(694円)に引き上げる「答申」をだしました。愛知の改定は、同じAランクの東京(目安+1円)、大阪(目安通り)からみれば、一定の評価はできるのですが、それでも出席した使用者側委員は、全員が反対の意思表示をしました。

しかし、Aランク内の格差解消である700円台への引き上げには至らず、まして私たちの要求である「時給1000円」からみればほど遠い内容です。引き続き、「時給1000円以上」「全国一律最低賃金制」確立に向け奮闘しましょう。

レバノンでまた
罪のない子どもた
ちが戦火に追われ
ています。あどけない子
どもたちの写真に心が痛
みます。私は今年も学童
保育所のキャンプで一年
生と山登りをしました
が、戦争をしないことが
こんなにも素晴らしいこ
とだと実感します。日本
を戦争する国にしないこ
と、「世界中の子どもた
ちが笑いあえる」ように
私たち親がもっともっ
と頑張らねば▼楽しい夏休
みのプールで2年生の女
の子が命を奪われまし
た。流水プールで吸い込
み口のフタが外れていた
など、「事故」ではすま
されない「事件」です。ア
ルバイトの監視員は誰も
吸水口のことについて注
意をうけていませんでした。
市は委託した管理会
社が下請けに丸投げして
いたことを「全くしらな
かった」と言います。指
定管理者制度で「安全管
理」の責任はどうなるの
でしょうか。名古屋でも
すべてのプールが指定管
理者制度になっていま
すが、安全管理に責任を
負うだけの委託料が保障
されているのでしょうか▼
ヒロシマ・ナガサキに原
爆が落とされてから61年
目の暑い夏が来ました。
さまざまな形で平和を願
う催しが行われていま
す。できるだけ多く参加
しようと思います。暑い
日が続きますが、戦争勢
力に負けてはいられませ
ん。愛労連作成のウチワ
も活用して夕涼み宣伝を
頑張ります。(く)



職場の厳しい実態にも負けずに頑張る決意があふれた総会

憲法九条と平和をまもる運動を力強く 愛労連女性協が第17回定期総会を開く

7月15日午後1時半、労働会館東館で行われた愛労連女性協第17回定期総会には、10単産から代議員50

人、幹事10人が参加しました。全労働争議団の工藤さんのコーヒーあり、建交労、全国一般、母親連絡会の物資販売ありの、気が利いているようで「ただ」では帰れない総会でした。来賓に愛労連の羽根克明議長を迎え、女性協議長の柿内さんの「情勢に負けないで平和を守る運動を強めていきましょう」という力強い挨拶で始まりました。討論では、小泉構造改革によるそれぞれの職場のきびしい状況が話されましたが、また、それらに負けな

**国保・医療・介護
なんでも電話相談
052(834)2020**
9月13日(水)・14日(木)
10:00～16:00
主催：愛知社保協

いとりくみや平和のとおりくみも報告されました。休憩の時には高校生平和ゼミナールからやって来た女子高

今後の主な日程

- 愛知共済会ハゼ釣り大会
9月17日(日) 8:30～
知多郡美浜町・富具崎漁港
- 愛労連青年協大ソフトボール大会
9月23日(土・祝) 9:00～
木場南広場(飛鳥村)
- 革新県政の会総会
9月23日(土・祝) 13:30～
労働会館東館ホール

【前号クイズの答え】
答えは「カクハイゼツ(核廃絶)」でした。正解者の中から抽選で10名の方に図書カードをお送りします。

青年協ニュース

AIAI

NO.7

厳しいからこそ結集しよう

“サマセミ” 青年交流会で職場の実態を語り合う



愛知・静岡・三重の参加者でパチリ

東海北陸地方の各県が持ち回りで開催し、実行委員会形式でその年、地方に合わせた内容を企画しています。学習と交流を深めることができますのでぜひ来年のサマセミに参加してみてください。

(青年協・加藤)

生から「原水禁世界大会」参加へのカンパの訴えがあり、若い人の率直な訴えに4万円以上のカンパが集まりました。女性協では9月に泊まりこみの幹事会、10月には60人規模の集会も計画しています。9月からの国会情勢を見据え、平和を守る運動、9条を守る運動を幅広くとりくんでいきます。

■自治労連愛知県本部
執行委員長 羽根克明／副執行委員長 梅野敏基／同 矢野正彦／同 大橋宗明／同 長坂圭造／同 林達也／書記長 伊藤慎次／書記次長 村田和広

■愛労連女性協
議長 柿内公子／副議長 木全乙美／同 渡辺育代／事務局長 横山節子

■愛知県医労連
執行委員長 振角敏広／副執行委員長 稲葉哲久／同 鈴木弘之／同 浜島ちか子／書記長 原英彦／書記次長 中島恵子／同 長尾実／同 西尾美沙子

■職場では数値目標に振り回されています。確かに就職件数等を意識して仕事をすることも大切ですが、結果ばかりを求めて過程をおろそかにしてはいないでしょうか。障害者の相談・紹介の場合、就職が大変難しい方もいますが、希望を持って来所しています。本省の方にも窓口業務をもっと理解して欲しいと思います。(全労働 板倉正美)

■7月に我が家に双子の女児が誕生しました。寝顔がとってもかわいく、ずっと見ても飽きません。(名水 芳 出崎大進)

新役員紹介

みんなの声

9条にカンバイしよう！と金山南口で9条について訴え通行人も含め120人が参加。ソフトボール大会は140人が参加。今年も9月23日に木場南広場で開催する。東海北陸サマーセミナーは61名が参加。今の青年のおかれた厳しい現状を確認しあうことができた。

NTTリストラ闘争は昨年8月に名古屋地裁で和解したが7月1日に大阪方面に35名が配転させられた。内16名が愛知の組合員で、取り戻し運動を展開する。学習会等で広く宣伝しているが、これまで繋がりが無かった人達も仲間になっている。引き続き支援を。



医労連 上条代議員

る。教育館も高層ビルにして安く借りられたシステムを変えようとしている。運動を展開するので協力してほしい。



西三河南労連 桜井代議員

中京病院支部の労働争議は勝利和解できた。評価制度の実施については組合の意見も踏まえて協議すること、なんとかスタートラインに立てた。地域住民のみなさんに信頼される病院づくりに奮闘していきたい。



名中センター 山田代議員

春秋の地域総行動で自治体交渉を中心に運動してきた。名古屋市は栄広場を高層ビル化しようとしている。

全労連も愛労連も大企業内部でのたたかひとの共同が後退している。割って出る事は好ましいことではないが、諸外国では複数組合というのは当たり前。ユニオンショップが労働者の団結権と労働者のくらしを守ってきたか議論する段階になっている。広い目で物事を見ながら運動を発展させていく視野が必要。



建交労 石村代議員

じん肺アスベスト根絶県民集会は500名を超す参加で成功。じん肺は心肺機能



天白地域センター 渡辺代議員

能が低下する職業病。全国11地裁で計964人が国の責任を求め提訴。東京地裁では国の責任を認めたが国は控訴。引き続き協力を。



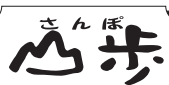
女性協 郷地代議員



青年協 加藤代議員



通信労組 今木代議員



湿原に舞う 白鷺(シラサギ)

No.23



文・写真 市場丈規 (あるきにとの会代表)

8月盛夏の湿原に白鷺が舞う。まさにそんな姿の花、サギソウ。花の造形の妙ともいうべきか。近々、近郊の真夏の湿原にはどこにでも見られる花だ。40℃近い暑さも湿原を囲む森に一歩足を踏み込むとひんやりとする。夏草繁る湿原に真っ白い花が灼熱の太陽を照り返し、モウセンゴケやミミカキグサのごく小さな花も彩りを添える。その中を湿原の生きた宝石、体長2cm足らずの真っ赤なハッチョウトンボが飛び回っている。たまにはクーラーの効いた部屋から飛び出して、湿原を歩いてみませんか。

士、共感をもって行動していけば必ず解決の糸口がつかめる」との訴えには、会場から大きな拍手が起こりました。

2日目の分科会は「憲法」「格差社会」「恋愛・結婚・子育て」の3つのテーマに分かれ、愛知実行委員会では「憲法」を担当しました。内容はクイズ形式でチーム対抗戦をおこないました。学習していたつもりでも、いざクイズに出題されると意外と苦戦していました。

(青年協・加藤)